

【開催報告（国際研究協力、韓国）】

研究協力覚書の調印式及び第 1 回都市分野研究交流会議を開催しました

国土技術政策総合研究所（「以下、「国総研」という。」）及び大韓民国国土研究院（以下、「KRIHS*」という。）は、平成 24 年 11 月 22 日（木）に国総研において、「研究協力覚書の調印式及び第 1 回都市分野研究交流会議」を開催しました。

*KRIHS : Korea Research Institute for Human Settlements

（開催経緯）

今回の調印式及び研究交流会議は、平成 24 年 3 月に国総研側が KRIHS を訪問し、研究協力の開始や研究交流の具体的なテーマについて意見交換を行ったことを踏まえて行われたものです。

国総研側からは、上総所長、小川副所長のほか都市研究部の研究者等が参加し、KRIHS 側からは、パク・チェギル副院長ほか 5 名（国際発展交流センター及び都市研究本部の研究者）が参加しました。

（研究協力覚書の調印式）

調印式では、国総研の上総所長による歓迎の挨拶の後、小川副所長より国総研の創設経緯や研究内容について説明を行いました。その後、KRIHS 側のパク副院長から今後の研究交流の発展への期待などが述べられるとともに、サゴン国際発展交流センター長から KRIHS の組織体制や研究内容などについて紹介がありました。

その後、研究協力覚書文書について、上総所長及びパク副院長が署名を行い、共同ワークショップや研究者の交流などの活動を進めていくこと、当面の研究協力は都市政策分野で行うことなどが両研究所間で確認・合意されました。



（写真 1 : 国総研上総所長と国土研究院パク副院長(右)）



（写真 2 : 調印式出席者による記念撮影）

(第1回都市分野研究交流会議)

調印式に続く形で行われた都市分野研究交流会議では、以下の具体的な研究課題について、国総研側及び KRIHS 側の研究実務者による発表・意見交換が行われました。

- ・人口変動や都市構造をめぐる動向と政策課題
- ・都市再生戦略と施策の展開の方向と事例
- ・ゆとりと安心のための街路環境整備

人口減少や少子高齢化、都市再生など両国で共通する課題について、双方の研究内容や考え方に関する熱心な議論が展開され、今後の研究交流を発展させていく上で貴重な会議となりました。



(写真3：研究交流会議の全景)



(写真4：意見交換の様子)

(今後の予定)

第2回都市分野研究交流会議は、来年2月頃、国総研側が KRIHS (韓国アニョン市) を訪問して行う予定です。

以上